

当上半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は24,165百万円となり、前年同期比で1.4%の増加となりました。利益額につきましても、営業利益は3,391百万円(前年同期比33.3%増)、経常利益は3,477百万円(前年同期比29.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,063百万円(前年同期比31.5%増)とそれぞれ増加しております。

モバイルスペースのレンタルについては、出荷棟数、稼働棟数ともに堅調に推移しており、売上高は前年同期比1.4%増となっております。レンタル資産のリユースをより一層促進させる取り組みを行うなど、資産を有効活用し原価を低減させる活動も推進し、事業の強化を図っております。

モバイルスペースの販売及び工事売上については、売上高は前年同期比1.3%増となりました。新規店舗の開設に加えて、展示場の新ブランド「MOPAQ(モパック)」への既存店リニューアルを進めております。体験・体感型の店舗づくりにより、お客様がご自分のご利用状況をイメージしやすくなり、用途の幅が広がっております。会社事務所、飲食販売店、医療施設、イベント関連施設など、多方面でご採用いただき、安定した案件獲得につながっております。

不動産賃貸事業についても着実に店舗を増やし、事業を拡大しております。レンタルスペースは展示場の展示品を活用して展開しており、展示場のリニューアルや新規開設とともに店舗を増やしております。展示品が有効活用されるだけでなく、ご購入を決定しやすくなる相乗効果も期待されます。トランクルームについても屋内型、屋外型それぞれの店舗を新規に開設しております。ルーム稼働率も一定水準を維持しており、売上高は前年同期に比べ2.9%増となっております。

当第2四半期連結累計期間末における総資産額は、レン



レンタル物件外観



飲食店外観



眼鏡店外観

タル資産や展示場等の店舗設備を中心に投資を行ったことにより、前連結会計年度末に比べ3,447百万円増加し、64,565百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ2,229百万円増加し、22,040百万円となりました。変動の大きかった主なものは、未払法人税等の増加742百万円、仕入債務の増加742百万円、その他の流動負債の増加335百万円、資産除去債務の増加176百万円などです。

純資産額は前連結会計年度末に比べ1,217百万円増加して42,525百万円となり、自己資本比率は65.9%と健全な財務状況を保っております。

キャッシュ・フローについては、前連結会計年度末に比べて現金及び現金同等物(資金)が1,701百万円増加し、5,259百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益による増加が3,382百万円など、3,829百万円の資金の獲得(前年同期は1,282百万円の獲得)となっております。



大学施設外観



大学施設内観

レンタルスペースも店舗数拡大中

ライフスタイルの多様化による空間ニーズの高まりを背景に、展示場の展示品を「レンタルスペース」として貸し出すサービスを行っております。51期4月からレンタルスペースビジネスを開始し、55期上半期は12店舗出店、計57店舗までネットワークを拡大して参りました。

レンタルスペースはカルチャー教室を始めとして、撮影スタジオ、物品販売店舗など、個人から法人の方まで幅広い用途でご利用いただいております。ご利用者様からは「将来自分のお店を持つときにはモバイルスペースの購入を検討したい」などのご感想をいただき、賃貸から購入という利用形態につながり、事業間の相乗効果も徐々に生まれつつあります。



カードゲーム大会風景